

インド版「判断基準 (EC Guideline)」導入支援の為のワークショップを開催しました

【事業概要】

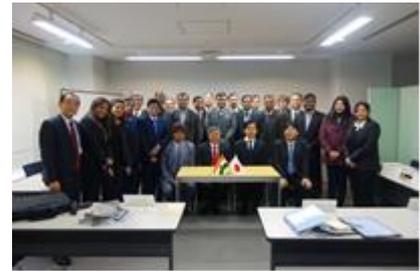
一般財団法人省エネルギーセンター (ECCJ) は、経済産業省の委託を受けて、今年度のインド向け事業として、インド産業部門への「判断基準 (EC Guideline)」の導入支援を実施しています。その一環として、去る1月15-19日、インド省エネルギー局 (BEE)、産業関連団体及びインド産業界を代表する民間企業のエネルギー管理専門家 (計17名) を招きワークショップを開催しました。



受入研修の様子



グループ討議の様子



集合写真

インドでは、現在、日本の「判断基準」を参考にインド産業部門向け「判断基準 (EC Guideline)」の策定作業を実施中です。12月末に出来たワーキングドラフトのエキスパートレビューする事を主たる目的としてワークショップを開催しました。日本の専門家を交えたレビュー会議での活発な議論を通じて、ドラフトの最終化に向けて有効なアウトプットが得られました。また、ワークショッププログラムには、日本のエネルギー管理優秀企業への訪問、「判断基準 (EC Guideline)」に基づく管理標準(EM Manual)の作成方法の実習等を実施しました。